令和８年７月１７日（金）

令和８年度　一学期終業式　校長の話

おはようございます。

今日で第 1 学期が終わります。まずは皆さん、4 月から今日まで、本当によく頑張りました。勉強に、部活動に、学校行事に、それぞれが自分なりの目標に向かって努力してきたことと思います。その頑張りに、校長として心から拍手を送りたいと思います。

さて、先日行われた全国高等学校野球選手権埼玉大会では、本校野球部が 1 回戦で熊谷工業高校と対戦しました。結果は残念ながら敗戦となりましたが、最後まであきらめず全力でプレーする姿はとても立派でした。野球部の皆さん、本当にお疲れさまでした。そして、暑い中応援してくれた生徒の皆さん、ありがとうございました。

その試合の中で、とても印象に残る場面がありました。本校のキャッチャーがプレー中にけがをした際、相手チームの生徒がベンチからコールドスプレーを持って駆け寄り、助けてくれました。

勝負の世界では相手はライバルです。しかし、その前に同じ高校生であり、一人の人間です。困っている人がいたら手を差し伸べる。その姿に私は大変感動しました。スポーツマンシップとは何か、人として大切なことは何かを改めて考えさせられる場面でした。

実は、本校の生徒の皆さんも、同じような行動をしてくれています。

先日、下校途中に体調が悪そうな方を見かけ、声を掛けて助けてくれた生徒がいました。また、今週の芸術鑑賞会では、狭山市駅から狭山市市民会館まで移動する際に、先生方が交通指導をしてくださいました。その時、ある先生から、「生徒たちが気持ちよく挨拶をしてくれました」という報告を受けました。

私自身も、登下校中に生徒の皆さんから挨拶を受けることがよくあります。皆さんの明るい挨拶に元気をもらっています。また、芸術鑑賞会での鑑賞態度も非常に素晴らしく、オーケストラの方々から見ても誇れる姿だったと思います。７月には生徒会や音楽で分校との交流、文化祭ポスター作りも良くやってくれました。生徒の皆さん、ありがとうございます。

私は、このような行動が自然にできる皆さんを校長としてとても誇りに思っています。

人を助けたり、気持ちのよい挨拶をしたりしても、お金がもらえるわけではありませんし、何か特別な利益があるわけでもありません。しかし、人を思いやること、相手を大切にすること、感謝の気持ちを表すことは、テストの点数や成績以上に大切な力なのではないかと私は思います。

言うまでもなく、自分のことは自分よくわかっています。自分自身を大切にすることも忘れないでください。

先日、学校の近所にお住まいの方とお話をする機会がありました。私は「本校の生徒はご迷惑をおかけしていませんか」とお尋ねしました。すると、その方から「大丈夫ですよ。いつも応援しています。」という、とてもありがたい言葉をいただきました。

地域の皆さんは、いつも皆さんのことを見守り、応援してくださっています。皆さんには、そうした方々が身近にいることを心のどこかに留めておいてほしいと思います。そして、これからも感謝の気持ちを忘れず、地域の皆さんから応援される狭山清陵高校の生徒であってほしいと思います。さて、本日は、第１学期の終業式にあたり、皆さんに４点お話をします。

１　１学期を振り返ってという話です。

先日、成績会議が行われました。

この学期、授業や部活動など地道な努力を積み重ねて成果を出した生徒が多くいました。皆さんの頑張りを嬉しく思います。その努力は、みなさん自身の“力”です。「少しの努力でも続ければ変わる」ということを、体で覚えたはずです。自信にしてほしいと思います。特に１年生は中学校の時と比べて成績が伸びた生徒がたくさんいました。２，３年生も進路実現に向けて結果を伸ばしている生徒が多くいました。その成果を自信に変え、次の目標に向かってください。

一方で、成績が良くなかった生徒もいました。特に１，２年生はとても多かったです。しかし、落ち込む必要はありません。大事なのは「なぜそうなったか」を考えることです。

授業中に寝てしまった、提出物を出せなかった、勉強しなかった、スマホを触りすぎた、欠席や遅刻が多かったなど、理由は必ずあります。その“理由”を直せば、成績は必ず上がります。

まずは自分自身をしっかり振り返りましょう。欠席・遅刻の多さ、提出物の遅れ、学習不足が目立った生徒もいるようです。このままでは進級、卒業に影響が出る可能性があります。しかし、過去は変えられなくても、今日からの行動で未来は変えられます。

この夏休みを、生活習慣や学習の改善に向けた「立て直しの期間」にしてほしいと思います。

２　夏休みは“分かれ道”という話です。

昔から「夏休みは生徒を分ける」と言われます。

約 40 日間の過ごし方で、2 学期以降の姿が大きく変わります。

・計画的に過ごす人

・なんとなく過ごしてしまう人

この差は、秋にははっきり表れます。

皆さんには、ぜひ 計画的な生活 を意識してほしいと思います。

部活動や進路実現のために積極的に動いてください。

３　安全を最優先にすること。という話です。
夏休みは自由な時間が増える分、危険も増えます。
特に次の３つは、絶対に気をつけてください。

① バイクによる交通事故
埼玉県では、10 代のバイク事故が毎年多く発生しています。
ヘルメットをかぶらない、スピードを出しすぎる、二人乗りをする。
こうした行為が命を奪います。自分が運転していなくても危険です。
→新聞記事の紹介、７月６日の埼玉新聞の記事です。バイクに二人乗りしていて、後ろの乗っていた女子高校生がバイクから落ちて後続の車にひかれて亡くなるという大変痛ましい事故です。→新聞記事、ネットの記事を紹介
自分は大丈夫と思わずに、十分に注意するようにお願いします。
「乗らない」「無理をしない」これを徹底してください。

② 交際相手による“性的な画像の撮影”という犯罪
・特に最近は、性行為、性的な画像を交際相手に撮影されるという犯罪行為が発生しています。「誰にも見せないから」「愛してるから」
こう言われても、撮影した時点で犯罪です。これは絶対に断ってください。
全国で、交際相手に撮られた画像が流出し、人生が大きく狂った例がいくつもあります。
一度ネットに出た画像は、消せません。
自分の未来を守るために、絶対に撮らせない。
もし困ったら、警察や家族、先生に相談してください。

③ スマホの使いすぎ
スマホは便利ですが、使いすぎると勉強も睡眠も壊れます。
１学期の成績が下がった生徒の多くが、
「夜遅くまでスマホを触っていた」と言っています。
夏休みは特に注意が必要です。スマートフォンの使いすぎによる 視力低下や内斜視 が中高生で増えています。→新聞記事の紹介
スマホは便利ですが、使い方を誤ると健康を損ないます。
「1 日 1 時間以内」を意識し、目と脳を守りましょう。

４点目　読書の習慣をつける
読書は、語彙力・集中力・想像力を伸ばします。
難しい本でなくて構いません。
マンガでも、図鑑でも、スポーツ選手の本でもいい。
「１冊読み切る」という経験が、みなさんの力になります。
この夏、ぜひ 読書習慣 を身につけてください。

４　最後に

夏休みは、皆さんの未来をつくる大切な時間です。

それでは、この後の生徒指導の先生、進路指導の先生からの話やホームルームで担任の先生からの話をよく聞いて、充実した夏休みを過ごしてください。